
第 122 回日本精神神経学会学術総会

スポンサードレクチャー(共催セミナー) 趣意書



2026 年 6 月 18 日 (木) ~ 20 日 (土)
パシフィコ横浜ノース

会長 水野 雅文
社会医療法人あさかホスピタル 院長

ご 挨拶

謹啓 時下、貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、第122回日本精神神経学会学術総会を 令和8（2026）年 6 月 18 日（木）から 20 日（土）にかけてパシフィコ横浜ノースで開催させていただくことになりました。この学術総会において、貴社にお手伝いいただけないかと考え、趣意書を作成いたしました。ご検討いただけましたら幸いです。

精神医学は、常に社会とともに歩んできました。戦争や災害、経済格差、孤立、情報化の進展といった社会的要因が、こころの健康に深く影響を及ぼしていることは、精神科疫学研究の成果によって繰り返し示され、こうした社会の変化に呼応するかたちで、精神医学もまた変容を遂げてきました。

現代の精神医療は、単に個人の内面に生じた病理にアプローチするだけでなく、人と人をつなぎ、制度と地域をつなぎ、過去と未来をつなぎ直す力を持っています。精神医学の営みは、社会構造そのものを映し出すものであり、時にそれを変革する可能性さえ秘めています。

本総会では、「社会の中の精神医療、社会を変える精神医学（Psychiatry in Society, Psychiatry for Society）」をテーマに掲げ、精神医学が現代社会のなかでどのように実践され、また、社会の変化に対していかなる影響をもたらし得るのか、多角的に問い直します。

今、精神医学は大きな転換点にあります。個体の病理に焦点を当てた従来型の診断学的アプローチだけでは、社会の複雑化に伴って現れてきた新たな精神保健上の課題に対応しきれない場面が増え、社会構造の急速な変化がもたらす新たな病理に対し、精神医学はいかに応えていくべきかが問われています。

精神科医には、「個人の病」から「関係性の病」へ、さらには「社会的文脈の病」へと視座を拡張することが求められ、課題に応答するには、診断名やマニュアルの枠を超えて、症状の背景にある社会的・文化的要因に目を向ける臨床的想像力と、柔軟な実践力が不可欠です。さらに、医療者としての専門性にとどまらず、社会的アドボカシーや政策提言の担い手としての役割も期待されています。

多職種連携の実装が進むなかで、精神医療には専門職の垣根を越え、多様な立場の人々と協働する姿勢がますます求められ、従来の「専門家主義」から脱却し、「開かれた専門性」を育んでいくことが、これからの時代の精神医学には不可欠です。

本総会では、臨床・研究・教育・制度・社会活動といった多様な実践領域において、精神医学が果たしうる役割をあらためて問い直します。そして、精神疾患をもつ人々の声に耳を傾け、社会全体の精神的ウェルビーイングの向上に寄与する道を探ります。

以上の第122回学術総会の成果達成のためには、学術団体である当学会と関連企業との交流を図ることは極めて重要と考えます。つきましては、諸経費ご多端の折恐縮でございますが、本学術総会の趣旨と意義にご理解をいただき、ぜひともスポンサードレクチャーへのご賛同を賜りたく存じます。

本来ならば参上し、拝眉の上お願いすべきことではございますが、本書面を借りてご高配とご援助の程、衷心よりお願い申し上げます。

末筆ながら、貴社のご発展と一層のご繁栄を心より祈念申し上げます。

謹白

2025 年 10 月吉日

第 122 回日本精神神経学会学術総会
会長 水野 雅



開 催 概 要

1. 学 会 名 称： 第122回日本精神神経学会学術総会
The 122nd Annual Meeting of the Japanese Society of Psychiatry
and Neurology
2. 会 期： 2026年6月18日（木）～20日（土）
3. 会 場： パシフィコ横浜ノース
（〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1）
4. 開 催 形 式： 現地開催+オンデマンド配信
5. 会 長： 水野 雅文 社会医療法人あさかホスピタル 院長
副 会 長： 平川 淳一 一般社団法人東京精神科病院協会 会長
医療法人社団光生会平川病院 院長
三木 和平 公益社団法人日本精神神経科診療所協会 会長
医療法人社団ラルゴ三木メンタルクリニック 院長
藤井 千代 国立精神・神経医療研究センター
地域精神保健・法制度研究部 部長
根本 隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座 教授
辻野 尚久 済生会横浜市東部病院精神科 部長
事 務 局 長： 喜田 恒 社会医療法人あさかホスピタル
6. テ ー マ： 社会の中の精神医療、社会を変える精神医学
"Psychiatry in Society, Psychiatry for Society"
7. ウェブサイト： <https://www.congre.co.jp/jspn122/>
8. プ ロ グ ラ ム： 特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、一般演題（口演・ポスター）、市民公開講座、スポンサードレクチャー 他
9. 参 加 人 数： 約9,500名（予定）
10. 総会事務局： 社会医療法人あさかホスピタル
〒963-0198 福島県郡山市安積町笹川字経坦 45
11. 運営事務局： 株式会社コングレ
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-51
Nakanoshima Gross 未来医療R&Dセンター11階
TEL: 06-7653-3188（代）（受付時間：平日9:30～17:30）
E-mail: jspn122@m.congre.co.jp

『企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針』
(透明性ガイドラインについて)

本会は、日本製薬工業協会、日本ジェネリック製薬協会（GE薬協）、および日本医療機器産業連合会の団体が定める「企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針（透明性ガイドライン）」をはじめとする関係諸規範およびその精神に従い、医療機関等との関係の透明性に関する企業方針を理解し、協賛会社による本会の拠出金額等の情報開示に同意します。

2025年10月吉日

第122回日本精神神経学会学術総会
会長 水野雅文



スポンサードレクチャー（共催セミナー）募集要項

1. 開催形式

スポンサードレクチャー（共催セミナー）

第122回日本精神神経学会学術総会との共催となります。

※スポンサードレクチャーは現地会場のみでの開催です。オンデマンド配信は実施いたしません。

2. 開催日時

2026年6月18日（木）～20日（土）の正午前後の約50～60分間

※スポンサードレクチャー（共催セミナー）は会期3日間開催いたします。

3. 会場

パシフィコ横浜ノース

4. 共催資格

大会の趣旨をご理解いただき、日本精神神経学会の承認を得た、薬品・試薬、医療機器、食品などを製造または取り扱う企業・団体。

5. スポンサーレクチャーの開催趣旨とその内容について

第122回学術総会では、参加者が休憩時間帯にも効率的に、最新の知見を学べるよう、スポンサードレクチャーを実施することにいたします。本レクチャーは、学術的かつ教育的な内容に限り、新たな知見を得る自己研鑽の機会を提供するとともに、学術総会の国際化および海外の著名な先生方や学会内外有識者との交流促進を目的としています。

（座長・演者の選定についてはP5をご参照ください。）

なお、当日会場前で配布されるチラシ・配布物につきましては、主催にて事前確認の上、承認を得た物に限りです。事前提出の詳細は、お申し込み後に改めて運営事務局よりご連絡いたします。

6. セミナー区分・共催費・募集予定枠

	セミナー区分	会場席数	共催費 (税抜き)	共催費 (税込み)	募集枠
(1)	スポンサードレクチャーA	1,000席以上	2,200,000円	2,420,000円	2枠
(2)	スポンサードレクチャーB	400～600席程度	1,800,000円	1,980,000円	10枠
(3)	スポンサードレクチャーC	140～300席程度	1,500,000円	1,650,000円	18枠

※収容人数は目安となっております。今後、座席数の制限等の指示があった場合は、座席数を減数する場合がございます。また、収録機材設置などで座席数の減数が生じた場合はご了承ください。

7. 共催費予定総額

49,400,000円（税抜き）（税込み：54,340,000円）

8. 基本仕様

1) 共催費に含まれるもの

- ① 会場費（セミナー会場および控室）
- ② 付帯設備費（学会会場と同じ仕様）
- ③ 映像機材費（学会会場と同じ仕様、映像オペレーター1名含む）

2) 共催費に含まれないもの

- ① チラシなどの製作物・広報物
- ② 演者への謝礼および旅費

※司会(座長)は主催にて学会員から選定しますので、謝礼および旅費は不要です。

※演者を日本精神神経学会の会員とする場合、学会の規定により、謝礼および旅費は無しとしてください。また、演者に内諾を得る時点で共催企業様よりその旨をお伝えください。

- ③ 控室等での飲食物
- ④ 学会会場としての仕様でない機材費等
(オンライン登壇・配信用機材、録音・録画機材、同時通訳機材等)
- ⑤ 持込機材等の設営・撤去に伴う会場費
- ⑥ 看板・装飾品（会場前看板、控室前看板、氏名掲示等）
- ⑦ 運営スタッフ人件費
(進行、照明、アナウンススタッフ、資料の配布要員等)
- ⑧ 控室用備品（PC、プロジェクター等）

3) 備考

本学術総会では、弁当配布はおこなわず、過去総会同様、参加者が学術総会から弁当を購入する方式となります。スポンサードレクチャー参加者は、購入した弁当もしくはご自身で持参された飲食物を講演会場内にお持ち込みいただきます。

9. 司会（座長）・演者

司会（座長）は主催にて決定いたしますため、各社様による選定は不要です。原則、日本精神神経学会 理事または本総会のプログラム委員より選定させていただきます。

演者については、日本精神神経学会の会員資格の有無は問いません。会員のみならず、海外招聘者や分野外の専門家である非会員もご選定いただけます。演者、講演テーマなどは基本的に運営事務局にてとりまとめいたします。ご希望案が決まり次第、演者に内諾を得ていただいた上で運営事務局宛にご連絡ください。主催にて調整させていただく場合がございます。

演者には、学術総会の他プログラムと同様、ご発表の際には倫理的配慮およびCOI（利益相反）をスライド内に明記いただきますようお願いいたします。

10. 宿泊・交通（渡航等）の手配など

演者につきましては、各社様にてご対応をお願いしております。ただし、日本精神神経学会の会員を演者とする場合、学会の規定により、謝礼および旅費のお支払いは無しとしてください。また、演者に内諾を得る時点で共催企業様よりその旨をお伝えください。

司会（座長）につきましては、上記記載のとおり、主催にて選定させていただきますので、謝礼および旅費の手配・負担は不要です。

11. プログラム集・抄録集

スポンサードレクチャーのプログラム演題名、日時、会場、演者、司会（座長）の情報をプログラ

ム集・抄録集に掲載する予定です。運営事務局までご提出ください。

12. セミナー案内チラシ

運営事務局よりセミナー案内チラシの作成要項について、後日ご案内いたします。
作成要項に沿って作成いただきますようお願いいたします。
印刷に入る前に、運営事務局にて原稿を確認させていただきますのでお送りください。

13. オプションお申し込み

基本仕様機材以外のもの（各種飲食、追加機材、スタッフ等）に関しましては、2026年4月中旬に運営事務局より実施要項と申込フォームを送付いたしますので、必要事項をご記入の上、お申し込みください。

※お申し込み頂きました順番・内容等により調整させていただきますが、ご希望に添えない場合もありますこと、ご了承ください。

14. 会場前の看板等

タイトル入りのものを、統一表記・デザインにて有料で作成いたします。
オプションお申し込み時に申込フォームよりお申し込みください。

15. ご請求について

開催日時および会場の割り振りにつきましては、主催にて最終決定いたします。
割り振り決定後、共催費に関する請求書を運営事務局よりお送りいたしますので、請求書発行日の翌月末までに指定銀行口座（P7参照）までお振込みください。

16. お申し込みについて

下記学術総会ホームページ「各種協賛申込」のページよりオンラインにてお申込をお願いします。
学術総会ホームページ「各種協賛申込」URL：
<https://www.congre.co.jp/jspn122/sponsorship.html>

お申し込み締切：2025年12月19日（金）

17. スポンサーダレクチャー（共催セミナー）申し込みの取消し

スポンサーダレクチャー申込の正式受理後は、主催者が不可抗力と認めた事故を除き、取消しは出来ません。
お振込みいただいた共催費の返金はいたしかねますので、予めご了承の程お願いいたします。

18. 変更・中止について

主催者は、不可抗力またはやむを得ない事情により、会期・開催時間などを変更、または中止をする場合があります。
中止の場合、共催費は返金いたしますが、各社がそれまでに要した費用は、各社のご負担となりますのでご了承ください。

指定銀行振込口座

共催費用のお振込みは、運営事務局にて請求書を発行後、下記の銀行口座へお振込みをお願いいたします。

銀行名 みずほ銀行 本郷支店（店番号：075）
種 別 普通
口座番号 2 9 1 3 8 9 7
口座名 公益社団法人 日本精神神経学会
フリガナ コウエキシヤダンホウジン ニホンセイシンシンケイガツカイ

※ 共催費用は、請求書発行日の翌月末までに指定銀行口座までお振込みください。

※ 振込手数料は、お申込者負担をお願いいたします。

※ なお金融機関発行の振込書控えを持って、領収書に代えさせていただきます。

領収書が必要な場合には、申込の際にその旨ご記入願います。

各種問い合わせ先

第122回日本精神神経学会学術総会 運営事務局

株式会社コングレ

担当：上原・清野・内海

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-51

Nakanoshima Qross 未来医療R&Dセンター11階

TEL: 06-7653-3188（代）（受付時間：平日9:30～17:30）

E-mail: jspn122@m.congre.co.jp